

東予総合支所

〒799-1394 周布349番地1 TEL0898-64-2700 FAX0898-65-4363

小林一茶ゆかりの実報寺

～一茶の伊予来遊～

江戸時代の俳諧師、小林一茶は2度伊予を訪れています。1795（寛政7）年には桑村郡中村（現三芳）の宿に泊まっており、実報寺の「一樹桜」を見るためだったといわれています。当時中村は宿場町で、現在の



▲満開の実報寺の一樹桜

の県道孫兵衛作壬生川線の大明神川橋北側の堤防下あたりに一茶の泊まった宿屋があったのではないかとわれています。

実報寺の一樹桜は市

の天然記念物に指定されています。エドヒガン、ウバヒガンといわれる種類で、ソメイヨシノに先がけて純白の花が咲きます。

一茶の旅日記『寛政七年紀行』には「波止浜を出て六里、中村に泊まる。明日、村より十丁程、実報寺の桜にまかるに、今を盛なれば、杏樹ざくらと云」と記されており、「思いきや此さくら木の常ならで折しも花に巡り来んとは」と感激しています。一樹桜は境内に現存しており、本堂前にはこの時に詠まれた「遠山と見しは是也花一本」の句碑が建立されています。

市内には、西條神社（大町）、前神寺（洲之内）にも一茶の句碑が建っているほか、松尾芭蕉や高浜虚子などの句碑も建立されており、正岡子規を輩出した伊予の俳諧文化を感じさせます。

丹原総合支所

〒791-0592 丹原町池田1733番地1 TEL0898-68-7300 FAX0898-68-4769

地域交流から学ぶこと

～菊作りへの取り組み～

西条市老人クラブ連合会では、菊作り人口を増やし、毎年開催している市老連主催の菊花展を盛り上げるため、平成26年度から丹原高等学校園芸科学科の協力・指導の下、菊作り教室を開催しています。



▲老人クラブの皆さんで作業中

老人クラブの会員20人が丹原高等学校園芸科学科の生徒と一緒に4月から11月の間、日々協力し、丹精込めて菊作りに取り組んでいます。土作り

から始まり、定植、水やり、芽摘み、摘心など、作業はさまざまです。今年も10月28日に丹原高校菊花展内で市老連菊花展を同時開催し、懸崖菊、大輪菊、ロケット菊、福助菊などを展示しました。

会員の皆さんからは、「先生や生徒の菊作りに対する熱意に感謝します」「分かりやすく教えていただき菊作りが楽しみです」などの声が聞こえました。活動を通し、世代を超えた地域の交流が深まっています。



▲菊花展で展示された菊

小松総合支所

〒799-1198 小松町新屋敷甲496番地 TEL0898-72-2111 FAX0898-72-4048

こと 箏の演奏でおもてなし

～小松高校日本音楽部～

9月30日に総合文化会館で行われた「愛媛つなぐえひめ国体ソフトボール少年女子」開始式の歓迎アトラクションで、小松高等学校日本音楽部が「風神・雷神」を演奏しました。風神と雷神は豊穰（福）をもたらす神といわれており、全国からのお客さまに幸福が訪れるようにとの思いを込めて演奏したそうです。13人で奏でる箏と十七弦の音色は、時に激しく時にやさしく、箏のイメージを超える素晴らしいもので、来場者を魅了していました。

小松高校日本音楽部は、愛媛県代表として全国総合文化祭へ9回出場し、優良賞を受賞した輝かしい実績

を持っています。これは日々の練習の積み重ねによるものです。日ごろから「努力・集中・和・感謝」をモットーに自主的に練習を行っており、放課後はもちろん、夏季・冬季休業日などにも特別に練習を行っています。

今回の大舞台での演奏も貴重でかけがえのない経験となったでしょう。今後の生徒たちの活躍にも期待しています。



▲ソフトボール開始式での演奏の様子